

校長室より

令和 4年 2月25日
校長 植野 博之



今年の冬は例年になく、とても寒い冬であったような気がします。2月もいよいよ終わりに近づき、3月を迎えます。3月は卒業式のシーズンです。

3月1日（火）は、高等部通学生9名の卒業式、そして3月15日（火）は、和歌山病院入院生（中学部3名 高等部3名）と中学部通学生4名の卒業式が行われます。

高等部3年生は、学校生活を終え、それぞれの進路に旅立ちます。

今は、残り少ないそれぞれの学部での生活を、1日1日大事にしている様子が伝わります。

コロナ禍の中で、この2年間は特に、本当に楽しみにしていた行事や取組が制限された生徒達でしたが、学校生活をいつもにこやかに笑顔で送っていた姿に感心します。卒業という大きな節目を迎え、皆さんの健康を祈念し、さらなる活躍を期待しています。



全国病弱支援学校ロボットプログラミング選手権で 技術賞獲得！

近畿・東海・北陸地区予選を準優勝で勝ち抜いたみはま支援学校黒鴉チームが、2月1日に全国大会に出場しました。

結果は今回の優勝チームに惜しくも敗れましたが、そのプログラミング技術が大学教授等の審査員に認められ、見事、技術賞を獲得しました。

賞状と盾をいただきました。



令和3年度みはま支援学校 学部研修報告会！

2月3日（木）みはま支援学校体育館にて、研究研修部主催の教職員による校内学部研修報告会を実施しました。

今年度の学校の重点課題としての実態把握と授業づくりやキャリア教育の充実を目標に、各学部で今年度の取組をポスター発表形式で行いました。

今年度は主体性を育む専門性の向上をテーマに、一学部（和歌山病院入院生担当教員）は「気持ちを育てる授業づくり」、二学部（通学生担当教員）は「多面的にとらえる力の向上」をテーマに取り組みました。

発表は、感染対策のため、換気もしながら、人と人との間隔も空けながら、体育館を5グループと、さらに3つの教室に分かれ、オンラインで行いました。

発表者は今回の発表へ向け、ビデオで事前に録画したり、発表方法を工夫し、わかりやすく報告できるよう取り組んでいました。

1年間の成果をまとめることは、自分なりに整理し、発表等アウトプットすることで先生達の専門性の向上や情報共有にも繋がります。児童生徒の学びやすい支援ができるよう、今後も研鑽を深めたいと思います。

令和3年度学部研修 グループ別研修テーマ

【一学部（和歌山病院入院生担当教員） みる・きく 自立活動】
【二学部（通学生担当教員） ICT活用グループ 授業改善 困り感の解決AB】



パンジー育ててます！

みはま支援学校には、温室があります。温室の中では、今パンジーの花がたくさん咲き出しました。昨年10月頃より、パンジーの種から発芽させ、ポットに苗を植えました。2月中旬頃より、色とりどりのパンジーが咲き出し、先日よりプランターに移植しています。種付けから、毎日の水やり、移植等たくさんお世話くださったスクールサポートスタッフさん達ありがとうございます。春には校舎いっぱいパンジーが飾れると思います。

